

MOCO通信

MOCOとは、「mother=母のような・やさしい」のMOと「combination=結合」のCOからつけられました。「きょうとMOCO」は京都府中小企業女性中央会の愛称です。

令和6年9月1日発行 第40号

編集・発行：きょうとMOCO
京都府中小企業女性中央会

〒600-8009 京都市下京区四條通室町東入ル函谷鉾町78番地
京都経済センター3階 京都府中小企業団体中央会内

☎ 075-708-3701 ☎ 075-708-3725

URL <http://www.chuokai-kyoto.or.jp/kyotoMOCO>

第24回通常総会・懇親会を開催



総会議案審議の様子

去る6月4日“からすま京都ホテル”にて「通常総会ならびに懇親会」を開催しました。

1部の総会では、第1号議案から3号議案の“令和5年度事業と決算の報告”“会費について”“令和6年度事業計画と予算”が滞りなく承認され、第4号議案の“会則一部変更の件”では「副会長の定数」を従来の“3名”から“若干名”に変更する旨が異議なく承認されました。最後の第5号議案では役員を選任も承認され、その後に行われた役員会では

和田登美子氏（あてらの会 会長）が新会長に決定し新たな体制がスタートすることとなりました。

2部の懇親会は、京都府から中小企業総合支援課課長の田村弘之様、京都市から地域企業イノベーション推進室地域企業振興課長の藤田英樹様、中央会から副会長の大島喜好様、青年中央会から新会長の鳥見本恵一様をご来賓としてお迎えし、皆様の心温まるご挨拶や乾杯とともに終始賑やかに進みました。

今回、長きにわたって会長をお務めいただきました伊庭節子様から「今期で会長を交代したい」とお聞きした時には役員一同大変に驚きましたが、思えば初代会長である故前田良子様からお役を引き継がれて9期18年、いつも前向きで精力的に活動をされているお姿に、無意識のうちに頼り切っていたのだと反省しつつ、今回の交代は女性部の更なる活性化を願ってのお申し出であり、又お役目は変わってもお力添え頂けるとのことで安心して和田新会長のもと今後も女性部のために活動していこうと思いました。

また、和田新会長も伊庭直前会長と並んで前向きでアイデア満載の方ですので、役員一同協力して会員の皆様に喜んで頂けるような事業を行っていきたく思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、伊庭直前会長の長年のご貢献に心から感謝と敬意を表しますとともに、今後もご健康で益々のご活躍をされますことをお祈りいたします。（記：副会長 五十嵐 由紀）

会長就任のごあいさつ

この度、9期18年会長を務めてくださった伊庭さんから、会長のバトンを渡されました、和田登美子です。MOCOには、設立当初から、あてらの会（伏見大手筋商店街のおかみさん会）として、お世話になっています。

仕事は、伊庭さんと同じ、荒物金物屋、料理道具や雑貨の小売り専門店です。そして、圧力鍋の料理教室を開催しています。

今まで築いてくださったMOCOの伝統を大切にしつつ、新しいことにも挑戦できたらなあ…と思っています。

まあ、とにかく、元気に、楽しくやりましょう！ みなさま、よろしくお願いいたします。



きらいん！MOCOメンバー このコーナーでは、キラキラ輝く会員の方々をご紹介します。



やまくら
山倉 かずみ さん

事業所名：Planning&Design 山倉
(販促・テキスタイル・商品企画、MON(家紋雑貨・京焼)製造販売)
URL：<https://mon-kazumi.com> [家紋雑貨MON](#) [検索](#)

「家紋には日本人の独特の感性があり、おもしろい」と語られるのは、『家紋』をデザインに用いた商品開発をされている山倉かずみさん。どのようなお仕事をされているのか、インタビューをさせていただきました。(インタビューア：理事 遠山あゆさ)

どのようなお仕事をされていますか？

最近是他社の販促デザイン、商品企画やテキスタイルデザイン、家紋雑貨「MON」の製造販売をしています。元々は、大手メーカーのテキスタイルデザイナーとして仕事をしていましたが、年齢的に子どもを産むか、仕事を続けるかを悩む時がきました。結果、仕事を離れ出産を選んだわけですが、子育てをしながらも描く仕事は続けていました。やっと子供の手が離れ元職に復職する時期には、すでに担当が退職しており、仕事の再開は一からのスタートとなりました。

そんな時、室町の呉服屋さんでデザイナーの募集があり、図案を持ち込んだことがきっかけで、その呉服屋さんの意匠企画室で振袖等のデザインに加え着物の商品開発や販促も任せられるようになりました。そこで家紋や西陣織に触れたことが、プライベートブランド「MON」の立ち上げに繋がりました。

「MON」について教えてください

「MON」には2つの意味があります。家紋のMONと、フランス語で「自分の・私自身の」という意味のMONです。

「家紋」はシンプルにかっこいいと思うんです。「家紋」には、多くの文様があり、それぞれに意味が込められていて、日本人独特の感性があります。和装産業が衰退していく中で、伝統産業を支える一助にと家紋をデザイン化し、多くの職人方とコラボしてインテリア雑貨、ポーチやトートバックなどの小物アイテムの制作をはじめました。小ロットで制作しているため、どうしても価格が高くなってしまいます。販売数が増えれば価格を下げることもできるため、多くの消費者に知っていただき、販売に繋げることが課題となっています。

今後の展開について

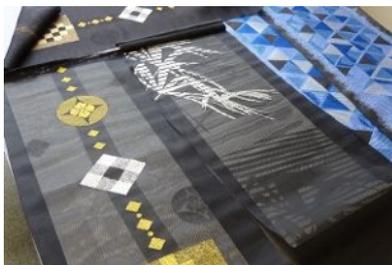
商品を販売していくには、ブランディングが重要だと思います。「家紋」の柄の織物や染め、刺繍などを用いた商品を、いろいろな企業と連携し、「家紋」をテーマとしたMONのファンを作りたいと思います。現在は、企画デザインから営業、販売まで1人で担っているため、共感できる方々と物作りや販売、販路開拓等と一緒にできればと考えています。

会員へのメッセージ

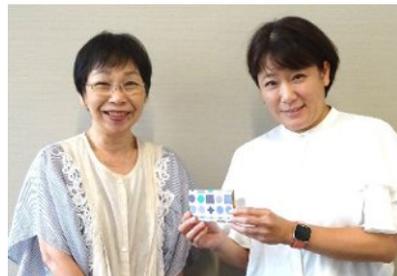
10月30日(水)に、みやこめっせで開催される京都府中央会の助け合い隊事業「第6回異業種交流会」にブース出展します。MONの商品をご覧いただけますので、ご来場をお待ちしております。



家紋柄のトートバック、ポシェットなどの小物



家紋のデザインと沙織の技術をいかしたコラボ商品。壁掛けやテーブルランナーとして使用



インタビューの遠山理事と記念撮影